

量子コンピュータの歴史

- 1980年 ポール・ベニオフが量子チューリングマシンが理論上可能であることを示す。
- 1982年 ファイマンが量子力学を使ったコンピュータを提案。
- 1985年 ドイツチュが量子コンピュータの計算モデル(量子チューリングマシン)を提唱。
- 1992年 ドイツチュとジョサが量子コンピュータ・アルゴリズムを考案。
- 1993年 ウメーシュ・ヴァジラニとイーサン・バーンシュタインが万能量子チューリングマシンのアルゴリズムを考案。
- 1994年 ビーター・ショアが“ショアのアルゴリズム”(因数分解手順)を考案。
- 1996年 ロブ・グローバーが“グローバーのアルゴリズム”(データ検索)を考案。
- 2011年 D-Wave社(カナダ)が世界初の商用量子コンピュータD-Wave Oneを発表。
- 2014年 グーグルがジョン・マーティン(UCSB)と連携し量子コンピュータの独自開発を開始。
- 2017年 IBMが汎用量子コンピュータシステムIBM Q向け16量子ビット・プロセッサを開発。
- 2017年 中国の科学研究チームが光量子コンピューターの開発に成功。
- 2019年 IBMが商用量子コンピューター(名称:IBM Q System One)を開発。
- 2019年10月23日、グーグルは世界最高速のスーパーコンピューターが1万年かかる計算問題を量子コンピューター(54量子ビット)は3分20秒で解くことに成功したと発表